



学 校 便 り 琢 磨

第 1 0 号 R2. 6. 30 三豊市立詫間小学校

学校再開から 1 か月が経過しました。

今日で 6 月も終わりです。例年ですと、この時期は 1 学期末に向けての学習のまとめとなりますが、今年度は、1 学期の終業式が 7 月 3 日ですので、ちょうど 1 学期の折り返し地点となります。

詫間小学校の皆さんは、この 1 か月、本当によくがんばったと思います。いろいろな制限がある中で、勉強に運動に、しっかりと取り組んでいました。臨時休業中の学習を取り戻すために、週に 1 時間、授業が増えました。水泳学習の開始も 1 か月近く遅れました。全校集会は、今年度になって一度も行っていない。学校行事や児童会活動、音楽の楽器演奏や、家庭科の調理実習なども制限されています。けれども、皆さんは、文句も言わず、前向きに学校生活を過ごしています。とても素晴らしい子どもたちです。さすがは、詫間小学校の子どもたちです。

今週から短い時間ではありますが、5、6 年生の放課後の水泳・陸上練習も始まります。これからは、暑さも厳しくなっていくと思いますが、1 学期の後半、体調を崩さずに充実した学校生活を送ることができるよう本校の教職員一丸となって努力してまいります。よろしくお願いたします。

本校の新型コロナウイルス感染防止対策等について その 9

フッ素洗口

給食後の歯磨きについては、6 月 15 日（月）から開始しておりますが、フッ素洗口につきましては、これまで見合わせておりました。しかし、三豊市教育委員会及び学校歯科医の指導に基づいて、本校では、今週の金曜日（7 月 3 日）から、フッ素洗口を開始いたします。フッ素洗口は、毎週、金曜日に行います。

学びのたより

授業時間確保のため、夏季休業中の 8 月 4 日（火）に期末懇談会を行うことは、これまでにお知らせしたとおりです。現在、希望時刻の事前調査を行っているところです。

「学びのたより」につきましては、1 学期が約 2 か月間しかなかったこと、教科等によっては、十分な学習活動ができていないものもあること等を考慮し、仁尾町・詫間町の小学校長で協議し、「1 学期末に評価・評定等を行う教科等」と、「2 学期末に、1 学期と 2 学期を通して評価・評定等を行う教科等」を決めました。本校では、以下のように「1 学期の学びのたより」を作成いたします。

「1 学期末に評価・評定等を行う教科等」

- ・ 国語、社会、算数、理科、生活（2 年）、外国語（5、6 年）、
- ・ 学級活動、行動の様子、学習習慣
- ・ 所見欄・・・道徳、外国語活動（3、4 年）、学級担任の総合所見

「2 学期末に、1 学期と 2 学期を通して評価・評定等を行う教科等」

- ・ 生活（1 年）、音楽、図工、家庭、児童会活動、クラブ活動、学校行事
- ・ 所見欄・・・総合的な学習の時間

夏休みの宿題

本年度の夏休みは、8 月 1 日～8 月 19 日と、非常に短いため、また、展覧会での三密を回避するため、以前お知らせしたとおり、2 学期最初に行われていた「夏休み校内作品展」は、中止いたします。

また、「作品づくり（自由研究、工作、絵・ポスター、習字など）」も原則、夏休みの宿題にはしません。ただし、学年団で相談し、無理のない範囲で共通の作品づくりが宿題となる場合もあります。詳しくは、「夏休みのしおり（学年団便り）」でお知らせいたします。

一方、「作品を作って応募したい」というお子さんもいらっしゃると思います。本年度の募集を見合わせているものもありますが、「募集作品の一覧」を配布しますので、自由に取り組んでいただけたらと思います。作品については、8 月 20 日の 2 学期の始業式（給食あり・6 時間授業）の日に学校に提出ください。なお、今年度は、夏休み中の全校登校日や学年登校日はありません。

ファミリーレストランでの思い出

私の娘が、3歳か4歳の頃のことですから、今から、もう20年も前の話です。

ある冬の寒い日。連休最後の夜のことでした。私と妻と娘の3人で、自動車で20分くらいの所にある、ファミリーレストランの入り口の外で立っていました。この連休は、残念ながらどこにも出かけることができなかつたので、せめて連休最後の日くらいは、外食をしようと出かけてきたのです。ところが、連休最終日とあってか、どこのお店も混んでいました。あきらめて帰ろうかと思うくらい、どこもかしこも長蛇の列ができていました。しかし、せっかく来たのだからと、私たちは決心し、できるだけ厚着をして、「お子様ランチ」のある、この店の長い列の最後に並びました。

店の外で30分位は待ったでしょうか。やっと、店の中に入ることができました。これで寒さはしのげます。でも、店の中にも、まだ数組のお客様が待っていました。そして、1時間が経った頃、それまでは、割と機嫌よくお話ししたり、しりとりをしたりしていた娘がとうとう、ぐずり始めたのです。お腹もすいてきた上に、1時間半以上も待っているのです。3、4歳の子どものことですから、無理ありません。

「お腹すいたよー。疲れたよー。もう、やだよー。」

と、娘は、今にも泣きだしそうになっていました。そこで、妻が、娘を抱きしめてくすぐったり、耳元でお歌を歌ったりして機嫌をとりました。ちょうど、その時に、一度に3組くらいのお客様が次々に席に案内され、私たちは、前から2番目（次の次）になっていました。

ところが、そこからは、ピタリと帰るお客様が無くなってしまったのです。とうとう、娘は、

「まだー？お腹すいたよー。疲れたよー。もう、やだよー。いつまで待たらいいの？」

と、前よりも、大きな声で、再びぐずり出したのです。

「次の次。もうすぐだから、もうちょっと我慢してね。」

と、言う妻や、先ほどの娘の声は、私たちの前に並んでいたお客様に聞こえていたのです。そのお客様は、私の父母と同じくらいの年齢に見えるご夫婦でした。

「あのう、よろしかったら、順番を変わらしましょう。お嬢ちゃんも、お腹すいているだろうし。私たちは急ぎませんから。どうぞ、遠慮なさらずに。さあ、どうぞ。」

と、振り返って私に向かって、そうおっしゃってくださったのです。「しめた！」私は、実は内心、こんな言葉をかけてくれるのではないかと、大いに期待していたのです。しかし、すぐに受け入れては、あつかましいので、一度はお断りして、もう一度、そうおっしゃってくださるなら遠慮なくそうさせていただこうと思っていたのです。すると、

「私たちにも、お嬢ちゃんくらいの孫がいますね。この連休に帰って来る予定だったのですが、孫が熱を出してしまいました。孫に会えなくてがっかりです。孫が来ないなら夕食を作るのも何だから、二人で外食でもしようと思って来ただけなのです。本当に、お先にどうぞ。さあ、どうぞ。」

と、期待通りの声がかかりました。横にいる妻も、きっと丁寧にお礼を言って、その申し出を受け入れるに違いないと思っていました。しかし、

「本当にご親切にありがとうございます。でも、順番を守ることを教えるのも親の務めですから。」

と、妻は、きっぱりと断ってしまったのです。私は、思ってもみなかった妻の反応に驚き、また、このご夫婦が気分を損ねないかと心配しました。

「なるほど、それも、ごもっとも。いやあ、余計なことを言いました。かえって失礼なことをしました。」

と、お二人は、笑っていらっしゃいました。その後は、私の娘に、まるで自分の孫に接するかのようにお話をしてくださいました。その横で、私一人が取り残されたように、だまって立っていました。

間もなく、前のご夫婦と私たちは、ほぼ同時に席に案内されました。席も、偶然、隣でした。

娘は、当時は食が細くて、外食しても料理を完食したことは一度もありませんでしたが、この日、初めてお子様ランチを残さずに全部食べてしまいました。

隣のご夫婦は、食事を済まされて、私たちより先に席を立ちました。お二人は、私たちに向かって深く頭を下げられてから店を出て行かれました。妻と娘は、手を振って二人を見送っていました。娘は、「おじいちゃん、おばあちゃん、バイバイ！」と、大きな声で言っていました。

私は、その様子をただ、横目で見ることしかできませんでした。